

(別添7)

事業所名グループホームほうゆう

2 目標達成計画

作成日: 平成 25 年 8 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	(観察の為の観察)(記録の為の観察)になっていないか、日々の観察がなぜ大切か、どんな展開につながっているか、観察の意義を繰り返し確認したい。	観察の意義を常に確認し伝える職場 新鮮な観察と発見を喜びあえる職場 気づきを深めあう職場	観察の目的をはっきり持つ その方の観察ポイントをはっきりさせよう。 今日の観察ポイントをはっきりさせよう。 その方がどのような生き方をしてきたかどんな過程でグループホームにたどりついた方なのかその方の物語をしっかりと知る事	6ヶ月
2	2	ご家族の気持ちや意見が本当に伝えられているか。個別に話す機会を持っているが直接には言いにくい事もあるのではないかと指摘があった。	家族会の開催 年2回(第1回目9月予定)	介護支援事業後ご家族だけの話し合う場を作る。 代表者による意見のまとめ 代表者のより職員に伝える。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。